

主権 在客 ようざん通信

ちいさな家族会の開催



東日本巨大地震（3月11日）の2日後、余震のおさまらない中、3月13日（日）に、小規模多機能居宅介護の「ケアサポートセンターようざん」と「ケアサポートセンターようざん並榎」の2つの施設の「ちいさ

な家族会」を開催いたしました。

集まった家族は、口々に「被害がなくてよかったですね」「東北地方はたいへんですね」と安堵と被災地を心配する話になりました。

今回の家族会は、今まで上並榎町と一緒にあるグループホーム等と、あるいは「ようざん」の高崎市内の全施設で行っていた家族会、研修会とは別に「ケアサポートセンターようざん」と「ケアサポートセンターようざん並榎」の認知症という共通する課題を抱えている家族でごく身近な話をするために開催いたしました。

最近利用を始めた家族の方もいましたので、上並榎町と一緒にある施設の概要を職員さんから説明していただきました。知っているようで自分たちが利用している施設は理解していても、隣にある建物はどんなサービスを提供してくれるところなのか分からないのが現実で皆で再確認が出来ました。

次に、忙しい中で職員さんに作製していただいた「利用者的一天」というスライドを見ながら説明を受けました。朝の迎えから、健康チェック、入浴、昼食、ボランティアの方々の芸能等、一日の利用者の過ご

家族会会長 松山隆志

し方を紹介していただき、なんとなく分かっていたことをさらに納得し、おじいちゃん、おばあちゃんが楽しく過ごしているということで安心感が増した次第です。

そして、やはりこの大地震の話になったわけですが、地震は日中であり職員もたくさんいたため皆で声を掛け合って、難を逃れたとのことでした。

しかし、その後の連絡ですが、皆様もご存知のごとく電話が通じない状態になり各家庭に利用者は無事ですと知らせることが出来ず、職員も家にいる家族も気がきでなかったところです。

それではどうしたらよいか。大災害で各家庭への連絡が取れない時、たとえば利用者を送っていても、その家庭が被害を受けていたり、停電で何も出来ないなどいろいろなケースがあるので、まず第一に各家庭と連絡が取れるまでは「ケアサポートセンターようざん」と「ケアサポートセンターようざん並榎」でそのまま利用者を預かってもらうということになりました。それが一番安全な方法であり、連絡が取れた家庭からそれぞれ対応していくこととなりました。このことは全家庭に周知することになりましたので、これをお読みになった時は、「ケアサポートセンターようざん」と「ケアサポートセンターようざん並榎」からの連絡文が届いていると思います。

各家庭の悩みを話し合い、災害時の対応についても意思統一ができた家族会となりました。

今後も全施設が集まっての研修会、あるいは高崎市内の施設ごとのお祭り等を実施するのは別にこのような身近な家族会も開催してまいりたいと考えておりますので皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

ようざん石原オープンしました

4月1日にオープンさせて頂きましたケアサポートセンターようざん石原・スーパーデイようざん石原です。写真は全員ではありませんが明るく元気なスタッフが揃っております!!地域に貢献する新たな道筋のひとつになれるようスタッフ一同努力しながら、皆様から愛される空間作りを目指します。

これからもケアサポートセンターようざん石原・スーパーデイようざん石原をどうぞ宜しくお願い致します。(大島)



認知症対応型共同生活介護

グループホームようざん飯塚

3月1日オープンしました、グループホームようざん飯塚で働かせて頂いています。

ご利用者9名がそろい、初めてのドライブ。梅を見に行ったら、箕郷梅林の帰り道、信号待ちのときに地震に遭遇しました。すぐにようざんに電話。何度かけても不通。早く戻ろうと急ぎましたが、あちらこちらで家屋の損壊や、事故などがあり不安だらけで帰宅しました。キッチンが水浸しになっているくらいで、ご利用者とスタッフは無事でした。とりあえず、ほっとしましたが、グループホームがスタートしたばかりのときに東日本巨大地震。未曾有の被害。計画停電。今までにないことばかり……。不安がいっぱいでした。

そんな中開催を危ぶまれていた春の高校野球、その開会式の選手宣誓に勇気や元気をもらったのは、私だけではないと思います。全文引用させていただきます。

宣誓。

私たちは16年前、阪神・淡路大震災の年に生まれました。

今、東日本大震災で、多くの尊い命が奪われ、私たちの心は悲しみでいっぱいです。

被災地では、全ての方々が一丸となり、仲間とともに頑張っておられます。

人は仲間に支えられることで、大きな困難を乗り越えることができると信じています。

私たちに、今、できること。それはこの大会を精一杯元気を出して戦うことです。

「がんばろう!日本」

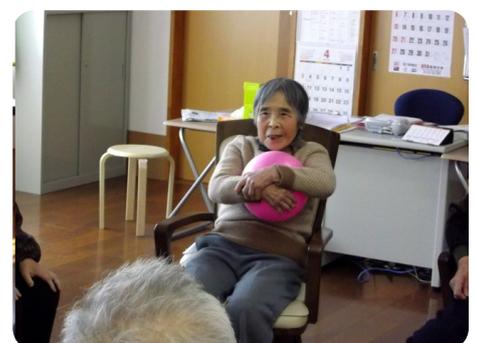
生かされている命に感謝し、全身全霊で、正々堂々とプレーすることを誓います。

H23年3月23日

創志学園(岡山) 野山慎介主将

創志学園は創部1年目で甲子園出場を果たした学校だそうです。私たちのグループホームも発足したばかり……。同じじゃん!今、できることを精一杯やっていけばいいのか……。

阪神大震災の年に生まれたという16歳の少年の言葉に励まされました。さあ、今日もがんばろう!(朝のTVより。「頑張ろう」ではなく、「顔晴ろう」という「がんばろう」があるそうです。頑なに突っ張るのではなく、晴れやかな顔で……。スマイル!笑って乗り切ります。素晴らしい仲間とともに顔晴ろう!(横沢)



認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん飯塚

花の蕾もふくらみ始め、お花見や散歩などの外出が楽しい季節がやってきました。

先月はスーパーデイようざん飯塚にとって、別れが多い月となりました。突然の別れや前々から知らされていた別れなど様々ありましたが、別れを通じて“一期一会”人との巡り合いの大切さを実感しました。利用者様一人ひとりの表情やしぐさ、交わした言葉はスタッフ一同の励みや学びの源になっています。特に笑顔が一番の宝物であり、一番大切にしていきたいと思えます。



現在スーパーデイようざん飯塚では、利用者様の意見をレクリエーションに取り組み為、行きたい場所や食べたい物などを選んで頂くアンケートを実施しています。アンケートを実施して気付いたことは、新しい事を求めている方が多いということです。“行ったことがないから、行ってみたい”“どんな味が食べてみたい”など、新しい事を求める探究心は常にあり、それが毎日に活力を与えているのだと思いました。昔を思い懐かしむこと、新しい事に興味を示し楽しむこと、どちらも大切です。その両方を感じ、毎日がマンネリではない新しい日々を過ごせるよう努力して参りたいと思います。(植原)

小規模多機能型居宅介護

ケアサポートセンターようざん並榎



お節句が過ぎると春の訪れになる訳ですが、東北関東大震災と今までにない巨大地震、大津波に見舞われ毎日テレビにくぎづけでいる時間が多い日が続いています。一刻も早く難局を乗り切っていく事を願っています。幸いケアサポートセンターようざん並榎では大きな被害もなく、利用者様も元気に過ごす事が出来、嬉しく思います。

3月生まれの方が3人おり、お祝いで手作りのおやきを作りました。また、小さなかわ

いいお雛様を作成し、持ち帰って頂きました。壁にはさくらの壁画が完成し飾ってあります。さくらも色塗りし、それを切り、タンポポと一緒貼り絵にしました。満開のさくらになり、部屋も少し明るくなりま

した。しのめ並榎支店様において、ようざんの作品展をさせて頂きました。ケアサポートセンターようざん並榎では、利用者様がカメラ片手に撮り続けた写真をまとめ出品致しました。“元気な笑顔”がいっぱいの写真で上々の仕上がりになりました。

3月16日には、昼食時にバイキングを実施致しました。こんな時だからこそ、楽しい時間を作り、たくさんの思い出、笑いの絶えない“ようざん並榎”を目指して来月も楽しいレクリエーションを計画していきたいと思っています。(田島)



訪問介護

訪問介護ほから



“こんにちは～ほからです。お変わりありませんか？”と笑顔にて挨拶と共に訪問サービス提供させていただいております。お弁当を利用することにより援助内容もさらに充実したものになります。多くの皆様喜んでいただいております。是非一度お試し下さい。(大塩)

小規模多機能型居宅介護

ケアサポートセンターようざん貝沢

ようざん貝沢では、3月3日のひな祭りに備え、段ボール紙に大きなおひな様とお内裏様を描き色とりどりの折り紙をちぎって貼り付け、等身大の立ち雛を作りました。今回の制作レクリエーションは、3月3日ぎりぎりまでかかってしまいました。制作を率先して担当して下さる利用者様の「早く仕上げないと、ひな祭りに間に合わないよ!」という掛け声の下、皆で気合いを入れて仕上げました。顔の部分はくり抜いて人の顔が出せるようになっていて、老若男女誰でもきれいな立ち雛になることができます。皆さん、照れながらもその気になって、

すまし顔で写真におさまって頂きました。
ひな祭りの日は「ひな祭りの由来はそもそも平安時代に云々・・・」と由来をみんなで勉強しながら、定番のひなあられと桜餅を打ち「うれしいひな祭り」の合唱で、楽しいひとときを過ごしました。今、貝沢のホールは糸で吊るした切紙の桜が満開です。地震の被災地の方々のことを祈りながら、「早く本物の桜が咲いてくれないかな」と心待ちにしている今日この頃です。(清水)



短期入所生活介護

ショートステイようざん

3月11日2時46分東日本大地震が起き、高崎市でも震度5強でした。毎日のように余震が何度もあり不安な毎日を送っていると思います。ショートステイようざんでも利用者様を安全な場所へ移動し、ただただ落ち着くのを待つしかない状態でした。
震源地では一瞬にして美しい故郷と人生を奪われた人たちが今後何を支えにしたらよいか、絶望を感じながらも一生懸命生きようとしています。そんなテレビを毎日利用者様と見ていて被災者の方々に私たちが今何が出来るのか?考えさせられました。そんな中、群馬県からの依頼を受けてショートステイようざんから1人の若者が宮城県の被災地へボランティアとして3月25日～4月1日まで活動に行きました。被災地では被災者や救護にあたる職員の心のケアも始められています。しかし避難所では、保健師や看護師等がもっと必要だそうです。

これからも、出来る限り長い期間ボランティアを派遣していきたいと考えています。
ショートの利用者様が少しでもこの地震の不安を吹き飛ばして頂けるよう制作レクリエーションを考えました。「春のおしどりと桜の壁掛けです。お花紙を丸めて花びらに付けたり、折り紙をちぎって貼ったりと利用者様と職員で協力し春を感じながら笑顔で完成することができました。これからもなるべく多くの利用者様に参加して頂けるよう日々試行錯誤、努力してまいります。(石原)



ようざん通信
認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん栗崎

このたび“スーパーデイようざん栗崎”の管理者を命ぜられました。佐々木幸子と申します。宜しくお願ひ致します。さて、春の訪れが感じられるようになりました今日この頃、皆様方におかれましてはいかががお過ごしでしょうか？

そんな春の穏やかな週末の午後、なんの前ぶれもなく“それは”やって来ました。「東日本大震災」今ではそう名づけられた大地震です。海なし県であり津波の被害もなく、災害の少ない県であります群馬県におきましても、観測史上最大級のあの揺れは一生忘れられないものとなりました。被災者の方々へ心よりお見舞い申し上げます。また被

災地の一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

【安全で安心で過ごしやすい場所がある】それは平凡で当たり前ではないと実感しました。誰かに支えられ、誰かに守られ、私達の生活が成り立っているのだと思い知らされました。危機管理の重要性を再認識し、利用者様やご家族様にこれからも安心して安全な場所を提供できますように努力してまいります。

大地震以降ドライブやイベントも自粛しながらも、スーパーデイ栗崎では、春のお茶会や風船バレー、ティシュカーリングなど室内ゲームでたくさんの笑顔の花が咲いています。

どうぞこの笑顔の花が被災地にも届きますように！（佐々木）



認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん双葉



日差しもやわらかく、春風が肌に心地良い季節となりました。スーパーデイようざん双葉の利用者様は、日々元気に過ごされています。

3月上旬には観音山の染色植物園までドライブに出掛けて来ました。福寿草、

紅梅、蠟梅が咲き乱れていて、とてもきれいでした。「急な坂道があったけど、皆で手を繋いで頑張って歩いて来たから余計きれいに感じる

よ。」と喜んでいただけました。花を眺めている利用者様の笑顔は最高でした。

また、3月13日はスーパーデイようざん双葉の家族会を行いました。毎日、利用者様と行っている健康体操や口腔体操をご家族様にも体験していただきましたが、いかがでしたか？その後の談話では、ご自宅での利用者様の様子をお聞きすることが出来ました。認知症という病気の利用者様と向き合い、過ごされているご家族様の介護における、精神的、肉体的な負担を少しでも軽減できるように、これからも支援していきたいと改めて感じました。困っていることや、お悩みなことなどがありましたら、お気軽にきずなノートや送迎で伺った際などにお話し下さい。スタッフ一同、より良いケアをめざしてがんばります。（梨本）



通所介護

デイサービスようざん並榎



東日本大震災から3週間が経ちました。幸い群馬は、あまり被害がありませんでしたが、今でも時々余震があり皆さんも不安な日々を過ごされている事と思います。ガソリンや

食品の不足による不安感、計画停電による生活の不都合・不便さは今までの生活では考えられない事だったと思います。しかし被災地では、大津波により家や車だけではなく家族までもが流され、避難所にて不便で不安な生活を送っている方がたくさんいます。私たち一人一人がこの震災を通して、今できることを考え協力し合うことが大切な事だと思います。



テレビでは、悲しいニュースばかりですが、そんな中でも私たちデイサービスようざん並榎では、明るく笑顔で過ごして頂こうと職員一同努めています。

制作レクでは、ピンクのお花紙で桜の花を作りました。皆さんとも手先が器用で女性利用者様のみならず、男性利用者様も真剣に花びらをひろげて下さいました。皆様のご協力のもと、今デイサービスでは桜が満開です。

お化粧のレクリエーションでは、ボランティアの方がデイサービスに来て下さりご本人にあったお化粧をして下さいました。遠慮がちな利用者様も実際にしてみると「きれいになったね」、「また嫁に行けちゃうかしら」と嬉しそうに笑顔でおっしゃっていました。

これからますます暖かくなってきます。散歩やドライブを通して春を直接肌で感じて頂ければと思っています。これからも職員一同、明るく笑顔で頑張っていきたいと思いますので宜しくお願い致します。(藤生)

認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん貝沢



3月11日、今までに経験した事のない大きな規模の東日本大地震がありました。被災された方々に深くお見舞い申し上げます。地震当日、スーパーデイようざん貝沢では職員が慌てて大騒ぎしているのを横目に、ご利用者様は「俺たちは戦争を体験しているからこれぐらいの事じゃ驚かぬえ。」と落ち着いていました。心強い言葉が聞けて勇気づけられたのを覚えています。幸い、怪我をされた方や体調を崩された方はいませんでした。

地震後の停電は本当にビックリしました。夕方はケアサポートセンター

ようざん貝沢のホールへ移動し一つのテーブルに集まり懐中電灯を囲んで昔話に花を咲かせました。

突然襲った非常事態に対応出来たのは私達職員ではなくご利用者様でした。普段から、「昔は〇〇だった。」とよく話されていますが、本当に大変な時代を生き抜いてきたのだなぁと底力を再認識しました。

初めて体験する計画停電にも皆さん協力的で快く対応して下さいます。また、必要以上に電力を消費しないように節電や節水を心がけています。

テレビをつければ悲しいニュースばかり流れている中、少しでも元気を出そうと大きな声で歌を歌い、制作物を作り雪解け(ガソリンや食品の安定供給)をまつばかりです。(中島)



認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん



冬の寒さも一段落して、ようやく春らしい季節になってまいりました。外を散歩するのが大好きなスーパーデイの利用者の方々は、来所されると「今日はお散歩に行くの?」と、とても楽しみにされています。3月に入って梅の花も咲き始め、箕郷の梅林ドライブを楽しんできました。「これは紅ヨウロウだね。」と、私は聞いたこともない梅の種類を教えてください。時には車から降りておやきを

食べて甘酒を飲み、気さくなお店の方との話にも花が咲きました。たまごホールで行われていた福祉センター祭りでは、ぐんまちゃんと記念撮影という貴重な経験が出来ました。体操、ゲーム、製作、音楽、調理など、室内でのレクもたくさんありますが、いろいろな所へ出かけて、この時期にしか見られないものを見たり、香りを嗅いだり、空

気を吸い込んだり……。 「出かけるっていくつになっても嬉しいね」と皆のテンションも上がり、車の中はとつてもにぎやかです。

3月2日、3日には、おひな祭りをしました。お昼にちらしずしを食べて、紙粘土で作ったうさぎのひな人形は、小さなひな壇に飾られました。女性の利用者様の多いSDの方々は、「お雛祭り、おめでとございます。」と職員に言われると、笑いながらもやはり大変うれしそうでした。民俗資料館では昔のお雛様が展示してあり、皆さん興味深そうに、係りの方に質問しながら見学されていました。

3月11日は世界中をもおびやかす、大きな地震がありました。スーパーデイの皆さんは怪我をした方もなく、全員無事で一安心していますが、東北地方を中心に、まだまだ生活が困難な方がたくさんいらっしゃいます。今私たちに出来る事を実践しながら、これからの暖かい気候を体全体で感じて、利用者様と一緒に今年の春を満喫したいと思っています。(橋本)



居宅介護支援事業所ようざん

このたびの東北関東大震災におきまして被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復興の兆しが訪れますようお祈り申し上げます。

私ごと、3月16日に11日間に及ぶ主任介護支援専門員研修を無事修了させていただきました。「決して楽ではない研修だよ。」と先輩方には聞いておりましたが、正直なところ本当に苦しい道程であり、特に最終日は強硬な研修内容に加え震災による計画停電実施のため薄明りのなか余震に脅かされながらのグループワーク、内心では一人暮らしの利用者さんの事が気にかかったりと、大変な状況での学習となりました。

振り返ればこの研修は、相談援助職また計画作成担当者としての業務の原点を改めて見つめ直す機会となりました。制度の目的や基準を根幹として、利用者様一人一人の望む生活を実現するため、そのかたの持て

る力を引き出し発揮できるような計画作りを目指すこと、その重要性を再確認しました。

そして、何よりこの仕事の醍醐味は『チームケア』にあることも痛感しました。グループワークでの検討で意見交換をしてみると、自分一人では気が付かなかったこと、多角的な視点、新鮮なアイデアを提案するメンバーには多に刺激を受けることができました。日頃の事業所内での相談や定期的なケース検討の機会を持つことの大切さを実感しました。

今回の研修で気付き会得したことを、今後の事業所の円滑な運営や質の向上、利用者様への支援内容の充実のために役立てていければと思っています。(茂木)

認知症対応型共同生活介護

グループホームようざん



まだまだ 朝夕は寒く 春の訪れが今年
は遅いような気がします、
自然の営みは徐々に、春を運んできてくれ
ています。道端の草花はかわいらしい花を
咲かせ、木々のつぼみは膨らんできていま
す。

3月上旬に利用者様と箕郷の梅林へドライブに出掛けました。花を
楽しみ、香りを楽しみました。それよりも、利用者様は みそこんにゃ
くや芋ぐしなど“おいしそうだねー。”と花より団子の様子でした。

3月3日にはちらし寿司と雛あられで 雛祭りの気分を味わいました。



小規模多機能型居宅介護

ケアサポートセンターようざん

イベントで繋げよう地域交流♪

3/18 (金曜日) 晴れ

こんにちは、皆様いかがお過ごしで
しょうか？最近、不安や心配事が多く、
東日本大震災では私達の心に深い
傷跡を残した事は言うまでもありませ
ん。そして計画停電、誰もが節電&
節水 etc…に力を入れ、少しでも被
災地の人々の力になろうとされてい
ることでしょう。

さて、今月のようざんユニットでは、
3月3日の雛祭りに因んで利用者様

皆様、美味しそうに食べられていました。

制作も、春を感じられる貼り絵や布花のチューリップなどを制作し、
飾るとホールの中が明るくなったようです。これからも、暖かくなっ
てきますので、散歩やドライブなど外へ行く機会を増やして気分転
換を図りたいと思っています。

常日頃から節電・節水には心掛けておりますが、今回の震災に
より被災・避難されている方々の不便で大変な生活を思い、私達に
出来る身近な事である節電・節水を、尚一層心掛けていきたいと
思っております。(萩原)



と一緒に桜餅を作り、皆さんで美味しく頂きました。また、制作レク
リエーションで出来上がった作品を北部公民館や、しのめ信金に
展示させて頂きました。北部公民館では展示作品公開の際には豚
汁等の提供もあり美味しく頂きました。

3月13日には家族会も行ない、利用者様やご家族様にも、もっと
『ようざん』を知って頂く事で、より深く御理解して頂けたことと思
います。

ようざんユニットでは、他にも3月に“たいせい保育園”の園児さ
んにきて頂く予定や、“ドイツ村”へ遊びに行く予定がありましたが、
残念ながら地震の為に延期となっております。

これからも地域交流を深め、利用者様と地域に深く根付き、繋げて
いく、そんな『ようざん』を宜しく願い致します。(鈴木)

<http://www.youzan.jp/>

ケアサポートセンターようざん栗崎

今回の大地震により被災されました方々、その家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。地震のその時、栗崎STでは、ドライブの帰り道でした。信号も止まってしまい初めての体験で動揺してしまいました。施設に到着するまでは本当に生きた心地がしませんでした。地震以来ガソリン騒動でドライブには行けず、もっぱら屋内で季節の行事や誕生会、体操をしたりして楽しく過ごしています。21日は、彼岸のお中日ですから「おはぎ」づくりです。皆様ベテラン揃いですから職員よ

り手つきがよく出来栄も上々、たいへん美味しくいただきました。さらに、栗崎には畑もあるのでこれから野菜や花の植えつけです。じゃがいもやミニトマト、きゅうりなどなど…。助っ人のご近所様も巻き込んで、みんなで楽しみたいと思います。自分たちで育てて収穫した野菜は極上の味になること間違いなしでしょう。(芝田)



デイサービスぽから綿貫がオープンします。 訪問介護ぽからが引っ越します。

平成 23 年 5 月 1 日高崎市綿貫町の綿貫団地の近くに「デイサービスぽから綿貫」を開設します。それに伴いまして、ショートステイようざん内に事業所のあった「訪問介護ぽから」が引っ越し、デイサービスと訪問介護の複合事業所となります。

デイサービスぽから

営業日：月曜日～土曜日（日曜休み）

営業時間：9：00～16：00

希望者は夕食後の送迎が可能です。

利用定員：14名からスタートします。（小規模型事業所）

ご利用が増えれば、定員25名に増員します。

通常の事業の実施地域：旧高崎市 旧新町 旧藤岡市 玉村町

デイサービスぽから綿貫の特徴

- ・レクリエーションの充実を図り、生きがいとなる楽しいデイサービスを目指します。

- ・昼食、夕食ともに200円で提供します。夕食は食べて帰ることも、持ち帰ることも可能です。

- ・サービスを利用される方全員がお昼寝ができるよう設計しました。

群馬県高崎市綿貫町
750-1

平成 23 年 5 月 1 日開設予定

デイサービスぽから綿貫

（介護予防通所介護 通所介護）

訪問介護ぽから（介護予防訪問介護 訪問介護）

ぽから 開設準備室（ショートステイようざん内）

027-386-5775

担当：薄井 内山 堀江

※お急ぎの方へ

堀江携帯090-6046-2055までお願いします



小規模多機能型居宅介護

ケアサポートセンターようざん双葉

3月の双葉はいくつもの光が集まったようです。

東北地方太平洋沖地震による被害の数々。そんな目を覆いたくなるような状況でも、いつかは光が当たるものです。

双葉では停電中キャンドルナイトを行いました。真っ暗な中に灯る蠟燭の火。柔らかい光。影絵に合唱など幻想的な中行われました。



お花の日・化粧の日・TG美容室では利用者それぞれにスポットライトが当たりました。

そうそう、お花の日に利用者様の家族もよっててくれました。花も化粧も散髪も、『キレイ』にするものばかり。自然とみんなが明るくなります。



集まった光の中で一番輝いていたのは何ととても『双葉一周年記念はまゆう山荘日帰りバスツアー』です。

ようざん始まって以来の一日温泉旅行。利用者様、職員はもちろんのこと。利用者様の家族や職員の家族、総勢40名の大旅行となりました。

胸を躍らせる私達を出迎えたのは、はまゆう山荘行きの観光バス。

バスの中では皆様ご存じ鎌倉亭いも助の漫談風ガイドで車内が沸きあがり、あっという間にはまゆう山荘に到着。

一行が進む先ではあつつあつの鍋料理。『美味しい、美味しい。』とあつつという間に完食。昼食を済ませて一休みした後は、はまゆう名物かけ流し温泉につかりましょう。まさに極楽。

上る湯気と共に世のチリは消えて行きましたとさ。参加して頂いたご家族の皆様、ありがとうございました。

もうすぐ暖かい季節がやってきます。これからの双葉はさらにさらに成長していきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

最近結婚しました双葉のリーダー矢島がお送りしました。みなさまにも沢山の光を・・・(矢島)



23年4月 イベントカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1 お化粧の日+足浴の日 (飯塚)	2 南京玉すだれ (栗崎)
3 おやつレク (飯塚)	4 新年度立志式イベント (飯塚)	5 なかよしクラブ (双葉)	6 生花デー (双葉)	7 お化粧デー (双葉) ふれあいバラエティー (上並榎)	8 お花見 (飯塚)	9 南京玉すだれ (上並榎)
10 たご公園お花見 (飯塚)	11 生花デー (双葉)	12 岡本ブラザーズ (上並榎) お花見 (飯塚) むつみ会 (栗崎)	13	14 お化粧デー (上並榎) 南京玉すだれ (貝沢) ふれあいバラエティー (双葉)	15 お化粧デー (双葉) さわやかハーモニカ (上並榎) 前田せつ子ショー (栗崎)	16 南京玉すだれ (双葉)
17 生花デー (双葉)	18 室内イベント (飯塚) シャンソンショー (貝沢)	19	20 岡本ブラザーズ (栗崎)	21 習字 (上並榎)	22 ラーメンともや (上並榎) おやつレク (飯塚) 前田せつ子ショー (貝沢)	23
24 生花デー (双葉) 春の祭典 (栗崎)	25 お化粧デー (双葉) ふれあいバラエティー (貝沢)	26	27 手作り昼食 (飯塚)	28	29 よってって劇場交流会 (双葉)	30 おやつレク (飯塚)

ホームページを全面リニューアル!

<http://www.youzan.jp/>



ようざん事業所案内

事業所名	提供サービス	所在地
ケアサポートセンターようざん	小規模多機能型居宅介護	群馬県高崎市上並榎町 1180 Tel 027-362-0300
ケアサポートセンターようざん並榎	小規模多機能型居宅介護	
スーパーデイようざん	認知症対応型通所介護	
グループホームようざん	認知症対応型共同生活介護	
デイサービスようざん並榎	通所介護	
居宅介護支援事業所ようざん	居宅介護支援	
スーパーデイようざん飯塚	認知症対応型通所介護	群馬県高崎市飯塚町 1311-6 Tel 027-370-4355
ケアサポートセンターようざん栗崎	小規模多機能型居宅介護	群馬県高崎市栗崎町 141-1 ケアサポートセンターようざん栗崎 スーパーデイようざん栗崎 Tel 027-353-4393
スーパーデイようざん栗崎	認知症対応型通所介護	
ショートステイようざん	短期入所生活介護	
訪問介護ぼから	訪問介護	
ケアサポートセンターようざん貝沢	小規模多機能型居宅介護	群馬県高崎市貝沢町 1492-1 Tel 027-386-5043
スーパーデイようざん貝沢	認知症対応型通所介護	
ケアサポートセンターようざん双葉	小規模多機能型居宅介護	群馬県高崎市双葉町 22-9 Tel 027-386-9943
スーパーデイようざん双葉	認知症対応型通所介護	
4月開設予定 ケアサポートセンターようざん石原	小規模多機能型居宅介護	群馬県高崎市石原町 4516-1 Tel 027-381-6743
4月開設予定 スーパーデイようざん石原	認知症対応型通所介護	
グループホームようざん飯塚	認知症対応型共同生活介護	群馬県高崎市飯塚町 1030 Tel 027-381-6543
8月開設予定 ケアサポートセンターようざん飯塚	小規模多機能型居宅介護	
8月開設予定 スーパーデイようざん飯塚第2	認知症対応型通所介護	
5月開設予定 デイサービスぼから	通所介護	群馬県高崎市綿貫町 750-1

